

令和4年度第3回釜石市学校給食センター運営委員会 開催結果（概要）

- 1 開催日時 令和5年2月27日（月）午後3時から午後3時28分
- 2 開催場所 釜石市学校給食センター2階会議室
- 3 出席委員 10人
鈴木崇委員、佐藤一成委員、外館悌委員、石手洗慎委員、金野宏美委員
千葉悟委員、内館菜穂子委員、佐々木恵委員、小澤喜久子委員
藤井津佳子委員
- 欠席委員 6人
及川美香子委員、柏館秀一委員、蛸島茂雄委員、須藤寛人委員
小笠原亮委員、鈴木繁委員
- 4 事務局 4人
山根美保子所長、佐々木慧主事、土手裕子主任栄養士
菅原良枝栄養教諭
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事
 - (1) 令和5年度学校給食センター事業計画（案）について 了承
配布した資料に基づき説明
 - (2) 学校給食センター施設運営（案）について 了承
配布した資料に基づき説明
 - (3) 学校給食費収納状況について 報告
令和4年度の学校給食費徴収金の収納状況を説明
 - (4) 施設見学及び給食試食会実施報告 報告
令和4年度の施設見学及び給食試食会の実施状況を報告
 - (5) その他
学校給食施設定期検査報告（釜石薬剤師会）
昨年の1月から釜石薬剤師会で給食センターの定期点検を年3回行っている。
新しい施設ということもあり衛生や環境面は今のところ問題はない。
ただ食器の洗い残しの検査で毎回でん粉反応が見られるが、これほどこの市町村でも出ると聞いているので、難しい部分がある。長期休みを利用してしっかり洗浄してもらうとか、でん粉専用の洗剤を使う等検討中となっている。

7 会議の中での主な質疑・意見

○その他

質問：来年度から釜石祥雲支援学校への給食提供に係り、刻み食等の対応はあるのか。

回答：1.5センチ角で刻み食を出すことで支援学校さんと話し合いをして決まっている。あとは食べられる量とか食べ方によって学校の方でハサミを入れるという食べ方をしていたので、ハサミをセンターに返していただいて、衛生的にしてまたつけて出すという形で管理をしていくことで学校さんとは話をしている。

意見：ハサミも一緒にお弁当に箸がついてくるみたいに。

回答：クラスごとに使うので、食缶にまとめて入れて配送する形で。2月13日に1回目のシュミレーションを行った。こちらのコンテナの関係で配送時間が少し遅れたが問題なく給食を食べていただいた。あとは明日、2回目のシュミレーションを行う。1回目のご飯だったので2回目はパンで行う。

質問：給食センターでほかの自治体等で、やっているところはないか。

回答：普通食の支援学校に配送しているところはあると思うが、刻み食等では対応していないと思う。ほかの学校、市町村と釜石の支援学校さんの児童生徒の違いがあるので、釜石市としては刻みまではできるという話をしている。

宮古市さんは普通食で出しているが、釜石の方は病態だったり幅広いお子さんが通っているところでこちらもできるだけ歩み寄らせていただくにはそこまでが限界なのでそこまではやるというところでプロポーザルの時も刻み食に関わる職員の人数を増やしたりと、来年度体制が変わってくる。

意見：支援学校さんに対応していただいている部分は、たぶん学校で、もしかしたらそういう子がいるというときに対応できることだと思うので、大変だとは思いますがよろしく願います。

回答：県立学校と釜石市立の学校と、通常食とやはり病態等の兼ね合いでやり方は特例となる。本来のセンターの業務ともちょっと違ってくるので、その辺はいろいろと話し合いをしながら進めていきたいと思っている。このことによって、通常の学校さんの方に負担がかからないようにやっていきたいと思う。

意見：たぶん、ほかの自治体でもやっていない新しい試みなので急にその年にうまくいくものではないと思う。2年3年5年という長いスパンで長期的に見てやれるところを増やしていただければ。どうしても駄目というところはもう駄目だと思うが、職員が変わってそこで途絶えないようにこれから先続けていってほしい。

意見：インクルーシブな教育が推進される中で、施設面とか給食の面とかそういう視点でもやはり障害にならないように進めていくのが大事だと思うので、準備対応し
てくださっていると思うが、引き続きよろしくお願ひしたい。